

江東未来会議
第5分科会（行財政運営・協働）
第6回 議事概要

日時：平成20年1月22日（月）19:00～21:00

場所：江東区文化センター2階 PRコーナー

参加人数：15人

1. 開会

2. 事務局からの連絡事項

○事務局

- ・まず、未来会議の最終発表会は3月13日（木）の開催に決定したのでご予定の確保をお願いしたい。発表会では分科会ごとに提言書の内容を発表するが、全員で発表することはできないので、数名の発表者を選出していく必要があり、この点も踏まえながら本日の議論を進めて欲しい。
- ・未来会議発表会当日には提言書とともに未来会議参加者の感想集についてもあわせて配布したいと考えているので、本日の資料に基づいて第7回会議までに執筆をお願いしたい。なお、感想集については提言書への掲載も検討しているが時間的な制約もあり、難しい可能性が高い。
- ・また、提言書には未来会議の参加者名簿も掲載したいと考えているので、個人情報となる「氏名」の掲載に同意するか否かについてのご回答もあわせてお願いしたい。
- ・最後に、分科会提言書（案）を作成する上で事務局において加筆・修正した点についてご説明したい。1点目は、「（1）」レベルについては全分科会を横断的に見たときの一覧性を重視し、各分科会に予め設定されていた検討分野を用いた表記に統一し、また、順番についても「行財政運営・協働」というタイトルに準じた順に変更している。
- ・2点目は「区議会運営」に関して、個別のグループでは重点テーマに選定されなかったが、各グループでの討議・発表内容を横断的に整理すると、課題・将来像・具体的な事業のアイデアについてそれぞれ述べられてきていたので、それらを「（1）行政運営～区政の組織運営に関すること～」の項目として再編成しているので、その取扱の是非についても本日の討議で検討していただきたい。

3. 本日のワークショップの進め方について

○田中コーディネーター

資料「討議の流れ」を用い説明

- ・本日が最終の討議と考えていただきたい。まず、分科会提言書（案）に基づき、各グループで記載内容を確認し、加筆・修正をしていきたい。
- ・一方で、これまでは各グループでの討議を重視してきたため、全体での討議が十分でなかったとも感じている。そこで、各グループでの討議時間は40分程度にとどめ、後半の1時間程度を全体報告や分科会全体の将来像検討など全体での討議の時間に充てていきたいと考えている。
- ・分科会提言書（案）をみると、個人的な所感としては、将来像のタイトルについてはサブタイトルの有無や文末の文体など、表現方法を統一した方がより訴求力が高まると思っているので、この点について後段で是非ご検討いただきたい。

4. ワークショップ

(1) 分科会提言書（案）に関するグループ討議

○田中コーディネーター

- ・それではまず、それぞれのグループで検討してきた内容について、加筆・修正などを行い、グループとしての修正案をまとめていただきたい。

【グループ別に討議】

(2) 全体報告・意見交換

○田中コーディネーター

- ・それでは各グループの討議結果を発表していただきたい。発表に際しては、全体で討議して欲しい点についても報告いただきたい。
- ・本日の全体報告の進行については、是非参加者の方が主体的に進めてみていただきたい。

○参加者

- ・それでは各グループでの討議結果を全員で共有したいので、分科会提言書（案）の項目立てに基づいて発表していただきたい。それではBグループからお願いしたい。

○Bグループ

- ・【現状および問題認識】の2点目「縦割り行政の弊害が見受けられます」と3点目「区民にとって行政サービスが「わかりにくい」状況にあります」は内容に重複感がある。
- ・「区長への手紙～」の内容は掘り下げても新たな展開は期待できないため削除し、他の3点を活かしていきたい。
- ・また、4点目の「区民から意見を聴取したり～」を構成する内容のうち「各委員会等で～」は議会運営にかかる論点であるので、5点目の「区民に開かれた議会運営～」に移行することとした。
- ・【江東区が目指すべき将来像】については、「わかりやすい行政」というフレーズを掲げ

ていたが、何がわかりやすい行政なのかという部分が若干”わかりにくく”なっていたので、「区民・行政・事業者がいっしょに創る^{つく}元気でわかりやすい行政」という形でグループとしては仮決めしたので、みなさんの意見を聞きながら決定していきたいと考えている。

- ・サブタイトルについては「三者一体となり、江東区の目指すべきヴィジョンを実現しよう」に修正した。
- ・【具体的事業のアイデア】については、「◎区民に開かれた区議会（出張区議会）の実施」については「④区民の意見を聞く場を設ける」を追加し、声なき声を把握する場や陳情の内容を確認する場を創っていくことが大事ではないかと思っている。

○参加者

- ・細かい点であるが、カタカナ用語が多く文章がややわかりにくい印象である。例えば「ヴィジョン、ミッション、タウンミーティング」などであり、カタカナ用語が続くと読み続けるのが困難になる。

○Bグループ

- ・意見として承ったので、最終回でどのような形で用語を用いるのか検討していく。

○Aグループ

- ・【現状および問題認識】についてはおおむね修正の必要はないと考えているが、検討する時間をとることができなかった。Aグループでは討議の時間すべてを【江東区が目指すべき将来像】の確定に費やした。
- ・Aグループの提案の柱は、現在自己評価にとどまっている行財政評価の仕組みを、区民・事業者との3者協働による評価の仕組みに発展させていくことであるが、この仕組みが目指す将来像のタイトルについて検討してきた。
- ・評価システムによって実現する将来像として「区民のためのよりよい区政」や「区民のニーズに応じた施策・事業の運営」といったイメージはあるが、確定には至らなかった。やわらかくてよい表現があれば、みなさんの知恵を拝借したい。
- ・なお、原案の「3者（区・区民・事業者）協働による行財政評価システムの実現」についてはサブタイトルという形で残していくこととした。

○Cグループ

- ・【現状および問題認識】についてはまず表題であるが「区民の協働～」だけでなく、「区民・事業者の協働～」とした方が当グループの趣旨にあうので修正した。
- ・2点目「区政が身近でない人～」については、身近でないだけでなく「区政が身近でない人・関心のない人～」を併記した方がよいということで修正した。
- ・3点目「せつかく区民協働のしくみ～」の内容にある子育て支援制度の話はあくまで事例であるので「一例として子育て中の親を～」という文章に修正した。
- ・4点目「区民に身近な公共施設～」は「区民に身近なはずの公共施設～」にしてはどう

かという意見がありグループとしての結論は出ていないが、とりあえず修正することで進めたい。

- ・ 5点目「審議会等の会議への～」は選定方法が確立されていないだけでなく、審議会の存在自体が十分に周知されていないという問題もあるので、「区が設置する審議会や委員会など各種会議が区民に周知されていない。また、参加する区民の選定方法は確立されていません」という形に修正した。
- ・【江東区が目指すべき将来像】については原案の「みんなでつくる江東区」は分科会全体の将来像のイメージであり、より協働・参画に特化した将来像が望ましいとの指摘をコーディネーターから受けたこともあり、新たな将来像候補をあげてみた。
- ・ 現在3案あるが「①一人ひとりが主役の江東区」「②主役はあなたの江東区」「③江東区はあなたが主役」である。これらについてみなさんの意見を伺えればと思う。
- ・【具体的事業のアイデア】については、すべての事業の取組主体に事業者を加えることとした。例えば、環境問題への取組や商店街の活性化は事業者抜きでは実現することはできないので事業者を主体として明確にしておくべきであると考えた。

○参加者

- ・ 発表内容について意見、質問があればお願いしたい。

○参加者

- ・ これまでは区役所に対して意見を言うことに終始していた感があるが、これまで議論を重ねてきたことで、行政と区民との信頼関係が重要である点や行政に依頼するだけでなくお互いに取り組んでいくような姿勢が大事であるという認識が生まれ、区民が主役になり、参画しながら取り組んでいくことの重要性を感じられるようになってきた。

(3) 分科会全体としてのめざすべき将来像の検討

○田中コーディネーター

- ・ 修正された3グループの将来像を横並びで見たときに、Cグループが提案した将来像3案の表現力が強く、これが分科会全体として表現したい内容なのかもしれないと感じている。これに関してみなさんの意見を伺いたい。

○参加者

- ・ 東京都の将来ビジョンに関する都知事の会見を見たが、植樹の本数や全校の校庭芝生化など具体的な実現目標が掲げられており非常にわかりやすかった。
- ・ 江東区内には現在マンションが800棟程度あり、オフィスビルを含めれば1,000棟以上のビルが建設されている。例えば、これらの屋上をソーラーシステムとして活用するというような話は非常にわかりやすい。
- ・ ビジョンやミッションといった表現は、未来会議参加者にとっては理解できるが、一般区民が初めて提言書を手にとったときのわかりやすさには疑問がある。メインタイトル

については数を絞り、よりわかりやすさを重視していくべきであると思う。

○田中コーディネーター

- ・ご指摘の通り、当分科会の将来像が例えば「一人ひとりが主役の江東区」といった形で1つに集約できれば非常にわかりやすくなる。とはいえ、1つの言葉ですべてを表現することはできないので将来像に階層を持たせて表現していければと思う。

○参加者

- ・3グループともに個性的な取組内容を検討してきており、現在の将来像はそれらをうまく表現していると思うので、私は全体の将来像を「みんなで作る江東区」として、その下に本日修正された3つの将来像がある形がよいと思う。

○参加者

- ・当分科会のテーマが「行財政運営・協働」ということを踏まえると、「みんなで作る江東区」の方が全体をうまく表現した将来像だと思う。その中で協働の部分の将来像については「あなたが主役」という表現を用いるほうがよいと思う。

○参加者

- ・Bグループの将来像に「元気で」という表現があるが、これは誰が元気になるということなのか。

○参加者

- ・「みんな（3者）」である。

○参加者

- ・よりよい江東区、区民のための江東区というのは全分科会の将来像のようなイメージであり、行財政運営・協働というのは「創っていく」という部分が主眼であると思うので、当分科会のタイトルとしては「みんなで作る江東区」でよいと思う。
- ・その上でCグループの将来像については比較的表現のやわらかい「一人ひとりが主役の江東区」がよいと思う。「あなたが主役」といわれると少し詰め寄られる感じがしてしまう。10年後に「一人ひとりが主役」になっていくために、自ら勉強し、参画していく姿勢が求められるという感じなのではないか。

○参加者

- ・確かに「あなたが主役」といわれると少し強い表現であるので、3案の中では「一人ひとりが主役の江東区」がよいと思う。

○参加者

- ・「みんなで作る江東区」はよい表現だが、少々インパクトや個性に欠ける気がする。それであれば「一人ひとりが主役の江東区」の方が全体のタイトルとしてよいと思う。

○田中コーディネーター

- ・両案ともよいと思うが、将来像のイメージを与えやすいという点では「一人ひとりが主役の江東区」の方が優れていると思う。

○参加者

- ・「みんなで作る～」 「区民がつくる～」 という表現は多くの都市で将来像として用いられている。他都市で用いられているから良い悪いということではないが、第1～4分科会までの議論を受けての第5分科会の将来像でもあるので、もう1フレーズ加えて表現を明確にしたほうがよいと思う。

○田中コーディネーター

- ・それでは訴求力のある「一人ひとりが主役の江東区」を分科会全体の将来像として、Cグループの将来像を当初の「みんなで作る江東区」にしてはどうか。
- ・私が誘導するのもよくないが、時間の限りもあるので、とりあえずこの形で修正案を作成し、次回最終的な検討を行うことにさせていただきたい。
- ・各位には各グループの視点ではなく、もう一度全体の視点で提言書の修正案をご覧ください、将来像を検討してほしい。

○参加者

- ・最後に1点だけ申し上げるが、原案の将来像の文章に用いられている「願います」「切なる願いです」といった表現は、当分科会の提言書の表現としては望ましくない。「あるべきです」など他の表現を用いるべきである。

5. その他（次回の日程等）

○田中コーディネーター

- ・それでは今後の進め方等についてご説明をお願いしたい。

○事務局

- ・本日の討議の結果を踏まえ事務局で提言書の修正案を作成する。次回は2月15日（金）の開催であるので、その1週間前を目処に修正版の提言書（案）を同封した開催案内を送付するのでご覧ください、当日持参していただきたい。
- ・発表者については本日決定できなかったもので、次回決定する。次回が最終討議となるが、その討議結果を踏まえた提言書最終版の確認については時間の制約があることから発表者に一任とさせていただきたい。
- ・未来会議からの提言書を受け、基本構想等の検討を進めていく基本構想審議会が今後設置される予定である。基本構想審議会の規定については昨年末の区議会において条例が可決されたところである。
- ・条例では基本構想審議会委員の構成を規定しており、区議会議員8名以内、学識経験者5名以内、区民および区内各種団体の構成員13名以内、関係行政機関の職員で合計30名以内の組織としている。
- ・この中で区民および区内各種団体の構成員のうち5名は、未来会議の各分科会から1名ずつ参加していただきたいと考えている。

- ・各分科会から選出する1名については、分科会参加者によって選出するのも一案であるが、審議会全体としてはどうしても男性委員が多くなることから、未来会議から選出する委員については女性を多くしていきたいと考えている。
- ・一方で、全分科会から女性の委員が選出されるというのもバランスを欠くので調整が必要であると考えている。そこで、基本構想審議会委員全体の構成等を踏まえながら、未来会議からの人選については区に一任していただきたいと考えているがいかがか。(異議なし)

(以上)